

リン酸バッファー

リン酸バッファー(リン酸緩衝液)は、カラムクロマトグラフィーや洗浄液などによく用いられる。ただ、酸性側のpHで緩衝能力が落ちることや、酵素の構造や機能に影響を与える場合もあるため、生化学的なアッセイにはあまり用いられない。多くの場合、[Goodバッファー](#)で代替できる。



田村 隆明

[バイオ試薬調製ポケットマニュアル 欲しい溶液...](#)

ISBN 4897068754

調製法

Sørensenの0.1Mバッファー

flask Sørensenの方法で種々のpHのバッファーを調整できる□pH 7以下の緩衝能力が低い。

- Sørensen, S.P.L.: Biochem Z. 21, 131 (1909) and Biochem. Z. 22, 352 (1909)
- Gomori, G.: Methods Enzymol. Vol. 1, 138 (1955)

A, Bを各量混合し、2倍希釈して0.1Mバッファーにする。

Stock solution A	0.2 M NaH ₂ PO ₄															
Stock solution B	0.2 M Na ₂ HPO ₄															
pH	5.8	6.0	6.2	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5	7.8	8.0
A (ml)	92.0	87.7	81.5	68.5	62.5	56.5	51.0	45.0	39.0	33.0	28.0	23.0	19.0	16.0	8.5	5.3
B (ml)	8.0	12.3	18.5	31.5	37.5	43.5	49.0	55.0	61.0	67.0	72.0	77.0	81.0	84.0	91.5	94.7

リンク

- [緩衝液](#)

[バッファー](#), [調製法](#), [実験プロトコル](#)

From: <https://bio.edu-wiki.org/> - BioWiki

Permanent link: <https://bio.edu-wiki.org/%E3%83%AA%E3%83%B3%E9%85%B8%E3%83%90%E3%83%83%E3%83%95%E3%82%A1%E3%83%BC>

Last update: 2016/07/10 03:40

